

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成 25 年 12 月 19 日

計画の名称	養老町における循環のみちの実現							交付対象	養老町	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）									
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を23.4%（H21末）から24.8%（H27末）に増加させる。 ②処理場における長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）				
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）				23.4%	24.8%	24.8%	※H23当初現況値は、H21末の値を使用。			
②処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画策定すべき処理場数（箇所）				0.0%	100.0%	100.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	40百万円	A	39百万円	B	－ 百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.5%



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

平成 25年 12月 19日

